



萩の里

黒部市立萩生小学校

学校だより 4号

平成30年7月24日

目指す子供の姿 **やさしく** **かしこく** **たくましく**

154の笑顔とともに

校長 高岡 薫

1年は73日間、2～6年までは75日間登校し、本日1学期の終業式を迎えました。この1学期を振り返ってみると、多くの思い出がありますね。

1年生は、学校探検をして、この萩生小学校のことをたくさん学び、お兄さん・お姉さんとも仲よく遊んで、楽しく学校生活を送ることができました。2年生から4年生までは、この萩生地区の探検や黒部市の施設見学などをして、学校以外の場でも多くのことを学びました。5・6年生は、5月の連合体育大会のために、4月から練習を重ねました。大会当日は、みんなで心を合わせて応援し、練習の成果を十分に発揮することができました。長いようであっといふ間の1学期でしたが、みなさん一人一人が自分の力を発揮し、こうやって終業式を迎えることができたことをうれしく思います。

しかし、6・7月に入って、日本各地で大変心配なことが起きています。大阪府北部での大きな地震、広島県等での豪雨による土砂崩れや川の氾濫による甚大な被害、そしてこの命に関わる危険な暑さによる被害です。断水等のため自分の家で生活できない人や家が壊れて避難している人などの様子を毎日のようにニュースで聞きますが、本当に大変なことだと感じます。

私たちは、こうやって毎日、学校の正門を歩いて元気に登校し、友達や先生と一生懸命に学習したり遊んだりして、家に帰ります。このことは、実はあたりまえのことだと思いますが、それさえもままならぬところがあるのです。私たちは、この萩生小学校でしっかりと学校生活を送ることができたことに感謝をしなければならないと思います。

さて、学校で明るい話題が2つありました。一つは、一人一鉢運動のベゴニア栽培です。6月に植えてから、みなさんは毎朝ベゴニアの様子を見て、水をあげていましたね。体操服に着替えてすぐに水やりに来る人。1回だけでなく、2回も水やりをする人。友達に「どうぞ」と言ってペットボトルを貸してあげる人。「大きくなった」とベゴニアに話しかけている人。ペットボトルをもって水やりをするみなさんの様子を見て、とてもうれしい気持ちになりました。もう一つは、ツバメの子育てです。児童玄関の軒先に、ツバメの巣があります。今は、かわいい子ツバメたちが巣立ちの時を迎え、毎日飛び練習をしています。思わず「あ、ツバメの運動会だ」と表現した子がいて、なるほどだなと感心しました。その様子を、みなさんは毎日見守り、写真を撮影している人もいます。動植物の育ちを観察することは、すなわち自分の成長にもつながります。なんだか心の奥が温かくなり、生き物としての同じ命の尊さを感じます。

いよいよ、明日から楽しみにしている夏休みが始まります。「自分の命は自分で守る」をしっかりと頭の中に入れて、事故やけがのない充実した夏休みにしてください。早寝・早起きをしてラジオ体操にもしっかりと参加し、健康な心と体をつくっていきましょう。

このように、終業式で話をしました。1学期間、保護者の皆様には、様々な面から学校へのご支援・ご協力をいただき、ありがとうございました。



いのちって素晴らしい！

養護教諭 三輪 玲奈

7月5日（木）の学習参観で、いのちの先生である水島香苗先生を講師にお招きし、6年生を対象に「いのちの授業」を行いました。子供たちは、事前に道徳科「いのちのバトン（相田みつをの詩）」の学習を実施し、受け継がれてきたいのちの大切さについて学びました。そして今回の学習では、いのちの誕生の様子や、胎児の成長の様子を学び、授業の後半では実際に赤ちゃんを抱っこする体験をしました。子供たちは水島先生の話真剣に聞き、自分のいのちの大切さを改めて感じる事ができました。保護者のみなさまや、水島香苗先生、赤ちゃんのお母さん方には、お忙しいところ、多数ご参加いただき、ありがとうございました。



<児童の感想>

- ・今「無事に生まれてきたこと」、それが私たちからの1番のプレゼントだと思った。
- ・とても痛い陣痛を耐えたお母さんはすごいと思う。これからも、自分のいのちを大切にしていきたい。



- ・赤ちゃんの手が、僕の手のおおの3分の1くらいとてもかわいかった。触るとぷにぷにしていて、もっと触っていたかった。
- ・赤ちゃんは、お母さんに抱っこされているときは落ち着いていたけれど、知らない人に抱っこされると泣いていて、びっくりしているのかなと思った。
- ・私は妹で、赤ちゃんを抱っこする機会がなかったので、とてもいい経験になった。

<保護者の感想>

- ・子供の夢が助産師なので、とてもよい経験になったと思う。いのちの大切さについて学習できてよかった。
- ・子供たちなりに考えさせられたこと、感動したこと等、たくさんあると思う。その思いを忘れないでほしい。
- ・子供が生まれたときの喜びや感動を改めて感じる事ができた。
- ・赤ちゃんのお母さんが、「今はこんなことができる時期だよ。こんなことがわかる時期だよ。」と、6年生に説明しているのが、とても印象的であった。



外部講師による水泳指導と黒部消防署員による着衣泳指導

今年も7月3日(火)、4日(水)、11日(水)の3日間、県の特別非常勤講師で市体育センター水泳教室講師の堀田悦子先生から全学年が水泳指導を受けました。

堀田先生の専門的な指導を受け、面被りクロールや蹴伸びが上手にできるようになったり、平泳ぎのあおり足が直ったりするなど、今までできなかった泳ぎ方ができるようになった子供もいました。



また、7月19日(木)には、黒部消防署3名の署員の方々に指導を受け、低・中・高学年に分かれて着衣泳を行いました。

子供たちは、空気の入ったペットボトルをおなかや胸に抱えて背浮きをしていました。水を含んだ体操服が意外に重たいことを実感していました。いざという時の対処方法について学ぶよい機会となりました。

夏休み中には、堀田先生や黒部消防署員の方々に教えていただいたことを思い出し、自分の立てた目標に向かって練習してほしいと思います。

学習参観・学級懇談会 ご参加ありがとうございました

7月5日(木)に開催した学習参観・学級懇談会には、ご多用のところ、多数ご参加いただきありがとうございました。4月の学習参観に比べて成長した子供たちの姿をご覧いただけたことと思います。

学級懇談会では、学年ごとに、1学期の成長や課題、「のびゆく子」の見方、夏休みの生活等についてお話をさせていただきました。

いよいよ明日からは、長い夏休みが始まります。望ましい生活習慣となるよう、ご家庭でのご指導をよろしくお願いいたします。





第1回学校評議員会

平成30年度荻生小学校学校評議員

7月19日(木)に第1回学校評議員会を開催しました。今年度の評議員は、右表の5名の方々です。1年間よろしくお願いいたします。

初めに、校長より今年度の本校の教育活動の取組や重点等について説明がありました。今年度は、「笑顔がいっぱいの安心して学べる学校」を目指して、教職員一同努力してまいります。次に教頭よりアクションプランについて説明しました。昨年度は、児童と保護者との評価が乖離しているというご指摘があり、今年度は、児童の評価方法を若干修正しました。

評議員の皆様方からは、学校が現在抱えている問題について真摯にご意見を賜りました。いただいたご意見を2学期からの教育活動に生かしていきたいと思っております。保護者のみなさまには、保護者アンケート等にご協力いただき感謝申し上げます。

氏名	役職等
松島 春男	荻生自治振興会長
浦田 照行	荻生公民館長
赤澤 利彦	PTA会長
畠 平晴美	荻生保育所長
稲垣 里佳	主任児童委員

7・8月の行事予定



7月

- 25日(水) 夏季休業開始～8/31
1年生保育所でのカレーパーティー
- 26日(木) 5・6年学年登校日
- 28日(土) プールシャワー取付外壁工事終了
- 29日(日)～30日(月)
5・6年生立山登山
- 30日(月) プール・体育館開放開始
- 31日(火) 4年登校日
2年・3年水泳学習会

8月

- 1日(水) 3年登校日
- 2日(木) 5年登校日
1年水泳学習会
- 3日(金) PTA荻生の館早朝清掃
(執行部対応)
- 4日(土) とやま科学オリンピック
2018
- 5日(日) 荻生放課後子供教室相撲練習

- 6日(月) 2年・4年・あおぞら級・ひまわり級水泳学習会
- 7日(火) 1年登校日、5年水泳学習会
- 7日(火)～10日(金)
名水の里くろべこども自然体験村
- 8日(水) 3年水泳学習会
- 10日(金) 2年・6年・あおぞら級・ひまわり級登校日
- 11日(土) 山の日
- 13日(月)～15日(水) 学校閉庁
- 15日(水) 荻生地区奉納相撲、盆踊り、納涼祭
- 20日(月)～22日(水)
英語サマーキャンプ
- 21日(火) 1年・4年水泳学習会
- 22日(水) プール・体育館開放最終日
- 23日(木) 校内水泳記録会
- 24日(金) 校内水泳記録会予備日
- 27日(月)・28日(火)
5・6年鼓笛・応援練習